2026年度　第1年次入学　試験問題

（A日程）

国　　語

（注　　意）

1）　問題用紙は9ページ、解答用紙が2枚あります。

2）　氏名、フリガナ、受験番号を解答用紙の所定の欄にはっきり記入してください。

3）　解答用紙の解答欄は問1から問100まであるので、問題用紙と解答用紙の設問番号を一致させ、問題用紙の設問数だけ解答してください。
解答欄に余計なマークをすると無効となるので注意してください。

4）　試験時間は60分です。

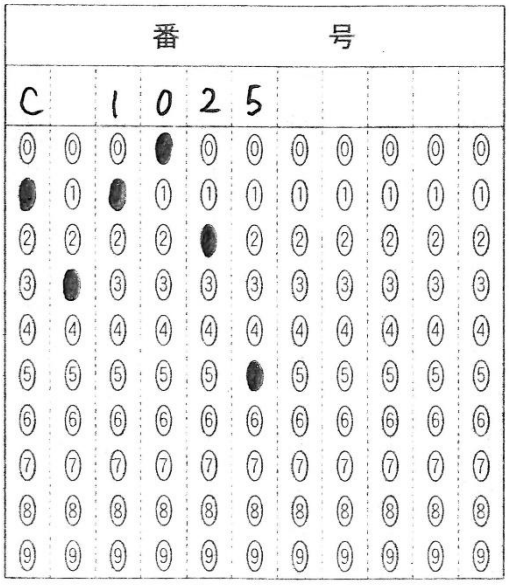
5）　終わりの合図があったら、問題用紙及び解答用紙を机上に置き、監督者の指示に従ってください。

【受験番号のマークの仕方】

下記を参考に、アルファベットを2桁の数字に変えてマークしてください。

A:11	B:12	C:13	D:14	E:15	F:16	G:17	H:18

例は、受験番号 **C1025** のマークの仕方です。左詰めで記入してください。



次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。解答番号は［1］～［22］とします。

人って結構ⓐ面倒くさがりだよな、ということをよく思う。あとから考えたら、そのひと手間を、そのひと言をサボらなければよかったのに。サボらなければもう少しどうにかなってたのに。もっと言うと、失わずに済んだのに。と思うことがある。これは単なるタラレバではなく、目の前にある噛み合わない歯車の存在を知っていながらも放置してしまう仕方なさ、みたいな話につながる。場合によってはこの歯車の噛み合わなさをどうしたらいいのかわからないままぼんやり眺めていたら、数十年がまたたく間に過ぎてしまった、ということだってあるだろう。

私の親友は「何食べたい？」と聞くと必ず「カレー」と答える女だ。そんな彼女に「好みじゃないカレーってあるの？」と尋ねると、「お母さんが作ったカレー」と返ってきたことがあった。「別に、分量を間違えてるとか、料理が下手ってわけじゃないんだけどね。なんだか好みじゃなくて。でも、好きじゃないって言ったことはないから、Ⓐいまだに実家に帰るとよく作ってくれるよ」と、ケラケラ笑っていた。このことを彼女が笑い話にできるくらい［I］できていてよかったけれど、原因が何かと言えばひとつじゃないんだろうし、どちらが悪かったということでもない。ただ、じわりじわりと積み上げてきたふたりの歴史がそうさせたとしか言いようがない。

親友はよく人のことを見ている人で、恐ろしく空気が読めてしまう人だった。読めすぎてしまうからこそ、自分の意思とかワガママとかを脇において、本来大人にならなくてもいいときにだって、大人をやってきた人だと思う。たとえ実家であったとしてもそのスタンスをⓐ崩すことはないし、娘のためにとお母さんが心をこめて用意したカレーは、いつもどおりに平らげるのだ。①ふたりの歯車がまったく別々に動いていることに、お母さんは気づいていないのかもしれない。

正直もう、この人とはいいかな。と諦めるほどに本音が言えなくなった関係性というのは、どこにでもある。もちろん、そこから改めて腹を割っていこうという意思と、根性と、タイミングを孕（はら）んだそれもあるとは思うが、いつの間にか違う場所に立っていた人と道を交えようとするのは、相当面倒くさい。まあいいか、こちらが我慢すれば。とちょっぴり心をすり減らして、噛み合わない歯車を放置してしまうことは誰にだってあるし、今さらⓑ是正する必要のないものも多いだろう。でも、今となってはどこでボタンをかけちがったのか不明な案件においても、気づいていたのに立ち止まる手間を省いた小さな瞬間というものはあったんじゃないかな、と思う。「あれ、なんか思った反応返って

こなかったな」とか「今の嬉しくなかったな」とか「うわ、その価値観まったく共感できない」とか。ちなみに私はそういうときに、「今の、ちょっと大丈夫じゃなかったよ」と素直に話せる土壌をつくっておくということ以上に②大切なコミュニケーションなんてないよな、と思っている。

関係性には立場というものがあって、親と子、上司と部下、先輩と後輩、「主人」と「㋑家内」（あえてこうした言い方をさせてもらう）というように、この社会で生きていくにあたって、立場の強くなりやすい側とそうでない側というものが存在している。もちろん人それぞれの性格や、積み上げてきた関係性もあるから㋐一概には言えないけれど、思ったことを言ってもここに安心して居続けられる、と思わせられるのは、［Ⅱ］に立場が強い側だ。

もちろん何でもふたつに分けられるものではないが、場所が日本であれば日本人と外国人、シスジェンダーとトランスジェンダー、健常者と障碍者なども立場が違う。立っている位置が違えば見えやすいものも違うし、受けやすい圧力も違う。弱者にしわ寄せが行きやすくなるのはこの世の常なのに、こうした明らかな③立場の違いを少しでも公平にするための取り組みを「特別扱いをする必要はない」などと⑤一蹴してしまう人は、自分がどんな立場でどんな特権を持たされているのかということに、いささか無自覚すぎるのかもしれない。

私も含めて人は誰もが「④無意識の偏見」㋒というものを持っていて、脳みそはストレスをⒷなるべく避けるために自分の考えや行動を「正しい」とⓒ解釈しやすいらしい。たしかに毎回「私の今の言動、まずかったかも？」と考えてばかりでは息がつまるけれど、誰かと関わるときに、相手との相対的な立場を考えるというのはやって損がないことじゃないだろうか。つまり「⑤他人の靴を履いてみる」余裕を持つ、ということである。

昔見たＴＶＣＭに、こんなのがあった。日本のとある公園でサッカーをする子どもたち。転がっていったボールを外国人と思われる子どもが拾った。

その瞬間に、緊張感が子どもたちの間を走る。言葉は通じるのだろうか？「遊ぼう」と誘っていいのだろうか？　というようなⓓ沈黙だった。

そして自分から「入れて」と言い出せないその子に、ひとりの日本人の子どもが笑顔で「Join us !」と声をかけるのだ。一同は楽しそうにサッカーを再開する。新しい友だちを歓迎して。ⓒおそらく子ども向けの英語教育の広告だったと思うのだが、私は「じょいンなす！」と

いう英語をすぐに覚えたし、いつか使えるタイミングが来たら大きな声で言ってみたいと思った。もちろんこういうコミュニケーションは相手の状況やタイミングにもよるし、受け取ってもらえない場合もあるから自己満足で押し付けては㋐野暮だけれど、マジョリティにしか言えないことってたしかにあるよなあ、と思う。

もともと立っている高さが違う人に、それぞれ同じ高さの台を渡すのは不平等の是正にはならなくて、結果的に同じ高さからものが見えるように渡すべき台の高さは人によって違うという話だ。それだけではない。ある場面において、もともと立っている高さが低くなりやすい人、つまりいろんなマイノリティのなかでもグラデーションがあって、一概に「障碍者はこう」「外国籍の人はこう」だなんて言えないし、対応は⑥オートメーション化できないということだ。卒業するころにはすっぽり頭から抜けている受験勉強のようなやり方で安心していいわけがない。人とのコミュニケーションで一問一答のこたえを暗記していても、うまく応用が利かないことのほうが多いものだから。Ⓓちなみに「女の子って、こういうの好きでしょ?」と渡されたプレゼントにモヤモヤしたことがある人の感情も、これに似ているかもしれない。「女の子」という想像の記号ではなく「目の前の私を見なよ」という話である。

人は移り変わる。そばに居すぎてピントが合わなくなっている相手のことこそ、ちゃんと見ていける大人でありたいと思った。

合田文（ごうだあや）　「群像」3月号　「土鍋の蓋が割れて」　二〇二四・三　途中、文章の中略を含む

問一　波線部ⓐⓑⓒⓓと同じ漢字が使われている言葉を、次から選んで、それぞれ番号で答えなさい。 1 ～ 4

1 ⓐ面倒　1 とう置法を使う　2 一とう両断　3 殺とうする　4 明かりの消とう

2 ⓑ是正　1 市せいの噂　2 せい人君子　3 品行方せい　4 冷せいを装う

3 ⓒ解釈　1 しゃく度を示す　2 会しゃくする　3 斟しゃくを加える　4 癇しゃく持ち

4 ⓓ沈黙　1 もく馬に乗る　2 一もく散に逃げる　3 もく浴をする　4 もく秘を貫く

問二　点線部のⓐⓘⓤⓔ読み方として適切なものを、次から選んで、それぞれ番号で答えなさい。 5 ～ 8

5 ⓐ崩す　1 こわす　2 みだす　3 たおす　4 くずす

6 ⓘ家内　1 いえうち　2 やない　3 おくない　4 かない

7 ⓤ一蹴　1 いっしゅう　2 いっしゅん　3 いっしょく　4 いっそく

8 ⓔ偏見　1 よそみ　2 へんけん　3 わきみ　4 えっけん

問三　二重傍線部㋐「一概には言えない」の表す意味として最も適切なものを、次から選んで、番号で答えなさい。 9

1　ひとことで言い尽くすことは難しい。

2　即座に言うことはできない。

3　一人の人だけに言うことは困難である。

4　全てを同様に扱って言うことはできない。

問四　二重傍線部㋑「野暮」の、本文中で表す意味として最も適切なものを次から選んで、番号で答えなさい。 10

1　悪意に満ちていて、相手を傷つけること
2　場に合っていて、ふさわしいこと
3　融通が利かなくて、空気が読めないこと
4　自然に任せていて、すばらしいこと

問五　傍線部①「ふたりの歯車がまったく別々に動いている」とありますが、親友とお母さん、それぞれが思っている内容として、最も適切なものを、次から選んで番号で答えなさい。 11 12

◎親友（娘）が思っていること 11

1　お母さんはカレーしか作れないから、喜んで食べよう。
2　お母さんが心を込めて作ってくれたカレーは、好みでなくても食べよう。
3　お母さんはカレーしか作れないから、残念だけど食べよう。
4　お母さんが心を込めて作ってくれたカレーは、大好きなので残さず食べよう。

◎ お母さんが思っていること 12

1 娘は、私が作ったカレーが好きではなく、別のものを食べたいのだろう。
2 娘は、私が作ったカレーが好きだが、飽きて違うものが食べたいのだろう。
3 娘は、私が作ったカレーが好きで、実家に帰ればいつでも食べたいのだろう。
4 娘は、私が作ったカレーが好きではなく、あまり食べたくないのかもしれない

問六 傍線部②「大切なコミュニケーション」とありますが、筆者が最も大切だと考えているコミュニケーションの取り方として、適切なものを次から選んで番号で答えなさい。 13

1 歯車の噛み合わないときには、ぼんやり眺めていること
2 歯車が噛み合わない場合は、相手を配慮して我慢すること
3 噛み合わない歯車の存在に気づいたら、そっと放置しておくこと
4 歯車が噛み合わず共感できないときには、本音を素直に話すこと

問七　傍線部③「立場の違いを少しでも公平にするための取り組み」とありますが、この場合の取り組みとして最も適切なものを一つ選んで番号で答えなさい。 14

1　日本に住んでいて日本語を話せない外国の人に対して、働く場所を限定する取り組み
2　障がいをもつ人に対して、健常者と同等に生活するために必要な支援を行う取り組み
3　多様性を主張する要求に対して、生まれた時の性別に従うという考え方で行う取り組み
4　高齢者に対して、ある一定の年齢以上の人は職業には就かせない配慮をする取り組み

問八　傍線部④「無意識の偏見」、傍線部⑤「他人の靴を履いてみる」とありますが、このことが具体的に説明されている部分を本文中から抜き出し、それぞれ、四〇字、二十五字以内で書きなさい。なお、句読点、「」は文字数に含みます。 甲

問九　傍線部④「無意識の偏見」と傍線部⑤「他人の靴を履いてみる」の関係について筆者が表す内容として、最も適切なものを一つ選んで番号で答えなさい。 15

1　「無意識の偏見」は、「他人の靴を履いてみる」ことで少し緩和されるものである。
2　「無意識の偏見」は、つまり「他人の靴を履いてみる」ということそのものである。
3　「無意識の偏見」は、毎回「他人の靴を履いてみる」ことでなくなるものである。
4　「無意識の偏見」は、「他人の靴を履いてみる」ことと関わりのないことである。

問十　傍線部⑥「オートメーション化」とありますが、筆者の考える「オートメーション化」を表す内容として**当てはまらないもの**を、次から一つ選んで、番号で答えなさい。 16

1　「障碍者はこう」「外国籍の人はこう」などと考えて、決めつけて対応すること
2　立場の違う人に、一定の高さの台を渡すことで、不平等を是正しようとすること
3　「女の子」という想像の記号でなく、目の前の人物を見てそれに応じて対応すること
4　人とので、一問一答の答えを暗記したような対応をすること

問十一　二重波線部のⒶ「いまだに」Ⓑ「なるべく」Ⓒ「おそらく」Ⓓ「ちなみに」のうち、一つだけ違う品詞の言葉がある。その言葉と品詞名を、それぞれ次から選んで、番号で答えなさい。 17 18

〔言葉〕　1　いまだに　2　なるべく　3　おそらく　4　ちなみに

〔品詞名〕　1　副詞　2　接続詞　3　形容詞　4　形容動詞

問十二　空欄 Ⅰ に入る適切な表現を次から選んで、番号で答えなさい。 19

1　消化　2　固執　3　反復　4　反対

問十三　空欄 Ⅱ に入る適切な表現を次から選んで、番号で答えなさい。 20

1　記録的　2　積極的　3　圧倒的　4　意識的

問十四　本文では「無意識の偏見」が取り上げられていますが、明治時代から昭和時代にかけて活躍した作家、島崎藤村が著した、「登場人物たちの葛藤を通して、差別や偏見などの社会問題を描いた作品」として、最も適切なものを次から選んで番号で答えなさい。 21

1　夜明け前　2　家　3　蒲団　4　破戒

問十五　本文の結びで筆者は、「そばに居すぎてピントが合わなくなっている相手のことこそ、ちゃんと見ていける大人でありたい」と言っています。大学生活を始めるに当たって、最も身近な方との関係を見直してみましょう。そして、今後、それを友達との関係づくりにどのように役立てていくかを、本学の建学の精神と関連付け、具体例を挙げながら、四百字程度の文章にして別紙に書きなさい。なお、文体は「だ・である」体（「です・ます」を使用しない文体）とし、適宜段落を設けること。 乙